



ご挨拶

季節は若葉の緑と色とりどりの花々が咲きそろそろ、5月を迎えています。本来なら行楽の時期ですが、新型コロナウイルスの感染流行が私たちの生活に不安とストレスをもたらしています。無症状で知らない間に感染拡大するため、政府は4月8日に「緊急事態宣言」を発令し、私たちの日中活動系4事業所は休業とし、グループホームは「感染」に注意ながら運営しています。利用者の方の中には、外出や人と会うことを恐れて、不安な状態になっている方もおられます。グローバルな世界というのは、「こういうことなんだ」と実感します。皆さんの職場や事業所や地域はどうでしょうか。地域社会みんなの協力で、この苦境・困難を乗り越えたいと思います。

☆就労継続支援B型「よつば工房」

よつば工房は、柏市内の県立公園の国立がんセンターから、徒歩で5分ぐらいの所にあります。定員は、40名です。利用者とその家族のニーズに応えられる「行きたい・通いたい」施設を目指して、活動しています。就労を考えている方、社会参加をもっと積極的に考えている方の、練習の場としても、利用していただくと幸いです。柏駅まで、送迎および昼食提供(250円)をしています。

内職作業と外勤作業があり、それぞれの作業に合わせて工賃が決まります。内職作業は、シール貼りや電話機掃除、非常用簡易トイレ製作、袋詰め作業、スポンジ型抜き作業などがあります。外勤作業は、ピッキング作業、ポスティング、公園の清掃、弁当の販売などです。

開所時間は、8時50分から15時30分までです。作業の時間は、午前の部10時から12時迄、昼休みを挟んで、午後の部は、13時から15時迄が基本です。仕事だけでなく、イベントとして、お花見・日帰り旅行・バーベキュー・そうめんパーティー・忘年会などの交流があります。まずは、見学をされませんか。よつば工房には、**現在定員の空きがあります。**見学や体験利用などの問い合わせは、04-7133-3046までお願いします。



☆工房利用者体験談 ペンネームまもちゃん

みなさん、初めまして。よつば工房で働いて、もうすぐ1年がたつ「まもちゃん」です。始まりは、2019年令和元年の5月1日に、自分はよつば工房に入りました。最初

は火曜日と水曜日に通いました。すごく緊張しましたが、親切なスタッフやメンバーの方が、自分を支えてくれました。だんだん通える日数も増え、最初は少なかった工賃も上がり、仕事も面白くなってきました。

それまでは、デイケアに通っていて、遊ぶのが好きでした。しかし実際に、働く練習をしてみて、自分でお金を稼ぐことで、もっとお金が稼げるようになりたいと意欲が出てきました。

これからの目標は、今年の8月までに、週5日午前と午後も働けるようになることです。今は週2日ですが、来週からもう一日増やします。よつば工房では、昼食も作ってもらえるので、お昼がおいしく、自然のおいしさを味わえます。よつば工房では、いろいろの作業があるので、面白いです。自分が好きなのは、ピッキングと調理です。

是非皆さん、よつば工房に来てみてください。一か月に一度イベントもあるので、楽しいですよ。それぞれ笑いあり、涙ありの24年間の「まもちゃん」の人生です。工房での出会いは、かけがえのないものです。まとまりのない内容で、すみません。自分は2022年まで、とりあえず、工房で頑張りたいと思います。



☆体験談・柏市在住 インタビューひまわり娘さん

① 発症した頃のこと

高校を卒業し、働き始めた職場で1年余りたった19歳のころ、人間関係にストレスを感じて、会社に行けなくなりました。その後は在宅が多くなりましたので、家族の勧めで、東京の病院に受診したのが、21歳のころです。そののち、別の

病院も受診し、最終的にみさと共立病院にお世話になって、安定しました。入院を経験する中で、デイケアにつながりました。そこで当事者の役員も経験して、少しずつ元気になりました。その時に知り合った人とは、今も友達です。

② 病院と薬に会えた幸い

わたしにとっては、みさと共立病院での出会いは担当医も利用者にも恵まれていました。今現在は、系列の新松戸メンタルクリニックに、月に一度通院しています。もう一つ感謝なのは、「エビリファイ」に会えたことです。この薬のおかげで安定しています。

③ 今の仕事や結婚のこと

2009年頃から、社会福祉法人よつばのB型事業所青い鳥で働くようになりました。今では週4日働いています。そして、2014年11月に結婚しました。今では、家庭生活と青い鳥での仕事をしながら、自分のペースを守っています。昔、三郷共立病院にかかっていたころ、幻聴に悩みましたが、「サバイバルスキル」について学べたことは、支えになりました。

④ 振り返って大切だと思うこと

今振り返って、大切だったと思うことがいくつかあります。一つは、服薬をきちんとすること。二つは、規則正しい生活をして、ペースを作ること。三つは、病気で苦しかった時に会った人や、健常者の方との出会いがあったことなどです。今では青い鳥で、売店の仕事や掃除の仕事をしていますが、家庭にもヘルパーの方に来ていただいて、支援を受けています。これからは読書をしたり、パソコンも習えたらいいなと思います。

☆家族の想い・流山市のDさん



① 息子の事から

私の子どもは40歳代の長男です。思い出せば20代前半のころですが、ストレスが重なり、妄想と幻聴が現れ、病院で統合失調症と診断され、入院することになりました。その後入退院を何度か繰り返し、今はひきこもりのような状態です。家族としては心配ですが、見守るしかありません。

② 家族会のよつば会に入るきっかけ

平成27年のころですが、息子が入院したときにあった情報が得られるのではないかと紹介され、さっそく市役所の障害者窓口に行き、「よつば家族会」を知ることが出来ました。

③ よつば会に入る不安もあって

しかし一方で、地域の精神障害者家族会に入ると、知っている人になってしまうのではないかと、心配する部分もありました。しかし、定例部会に参加する前に、その当時の家族会役員の方から「何も心配することはありませんよ」と言っていたことで安心しました。家族会では、「話した内容は、外部には知らせない」という約束があるからです。

④ 定例部会に出席して

こうした経過を経て、平成27年の7月から家族会に参加させていただきました。病気のことや当事者の生活のことや、親亡き後のことなど、詳しくわかりやすく聞くことが出来て、大変助かっています。また、講演会も随時あって、これも勉強になります。知らないことが多くあるからです。現在息子に大きな変化はありませんが、よつば会で「親として悩んでいるのは自分だけではない」と分かれば、気持ちも楽になり、結果として息子が良くなってくれることに期待しています。

☆法人よつばの各事業イベント紹介

法人よつばでは、イベント参加は、大切な働きですが、現在の時点では、イベントが開かれていない状況にあります。とても残念です。せめて屋外だけでもと願っていますが、5月の連休明けに鎮静化されるのを心待ちにしています。

☆精神障害者家族会よつば会 定例会の紹介 (問い合わせ 04-7199-3645)

<柏部会>

・5月の予定は、未定です。感染の広がりの様子を見て判断します。

<我孫子部会>

・5月迄はお休みです。6月以降に再開されませんが、時期は上記に問い合わせを。

<流山部会>

・5月22日金曜 10時から

・初石公民館・会義室にて



なお、発達障害者の家族会「ひまわりの会」が開かれています。関心のある方はお問い合わせください。

・5月の再開は、感染状況次第です。下記の担当まで、問い合わせてください。

・問い合わせ 大山 090-7226-4486
三尾谷 090-3426-1813